

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2021年												2022年															
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月 ~4日	12月 ~11日	12月 ~18日	12月 ~25日	1月 ~1日
カンピロバクター	114	65	137	114	169	115	122	85	45	63	84	78	76	34	43	69	64	99	99	47	48	99	77	10	11	8	4	6
病原性大腸菌	39	25	52	61	55	64	63	45	42	102	62	44	29	41	37	62	88	90	30	53	40	44	45	20	33	15	13	4
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	2	3	2	0	3	2	0	0	0	0	0	1	1	10	2	0	2	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	6	5	3	1	5	8	10	23	9	25	7	4	4	3	7	5	5	3	16	12	12	14	5	2	0	0	1	3
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	16	33	19	39	25	17	15	20	26	21	12	35	12	25	20	32	22	26	19	13	20	18	6	2	2	1	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	10	15	25	31	13	14	19	10	18	8	18	19	10	9	19	28	9	17	18	15	16	20	4	5	1	4	0
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	4	4	0	4	5	3	3	3	3	0	0	0	1	3	4	1	5	4	1	1	1	0	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	5	7	3	2	2	2	3	1	0	0
ノロウイルス	4	5	6	11	13	9	0	0	0	0	0	2	4	0	7	2	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	1

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和4年第52週(12月26日~1月1日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	5	結核	5			3		2		
三類	0	発生なし	0							
四類	0	発生なし	0							
五類	8	侵袭性肺炎球菌感染症	1		1					
		梅毒	7			1		4		2
新型インフルエンザ 等感染症	34,436	新型コロナウイルス感染症	34,436	3,823	2,523	3,201	784	14,881	2,318	6,906

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町

西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症

第52週に14,881件の報告があり、増加が続いています。全国でも新規感染者数は高い水準が続いており、12月29日発表の死者数は420人と、これまでで最も多くなりました。基本的な感染予防対策に加えて、体調不良時は外出を控えるなど、一人一人が対策を徹底することが大切です。

2 インフルエンザ

定点当たり0.62人と増加傾向です。協力医療機関(市内2か所)の迅速診断キットの結果は、全てA型でした。マスク着用、手洗い、換気など、感染予防対策を徹底しましょう。

3 梅毒

2022年の累計は317件(速報値)と大きく増加しました。

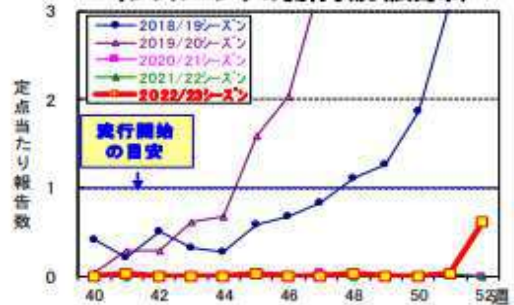
4 感染性胃腸炎

冬季はノロウイルスなどによる感染性胃腸炎が多くなります。手洗いや便・吐物の適切な処理など、感染予防対策を徹底しましょう。

新型コロナウイルス感染症新規感染者数の推移(広島市)



インフルエンザの流行状況(広島市)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	21	0.62	8.53		小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.07	
	咽頭結膜熱	4	0.19	0.38			RSウイルス感染症	1	0.05	0.28	
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	0.14	1.41		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
	感染性胃腸炎	149	7.10	7.30			流行性角結膜炎	-	-	0.38	
	水痘	1	0.05	0.40		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	2	0.10	0.62			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	1	0.05	0.22			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.09	
	突発性発しん	1	0.05	0.26			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	5	0.24	0.21			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03	

急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	34
小児科定点数	21
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

今週(第52週)は、年末年始の休診の影響で、報告数が少なくなっている可能性があり、前週(第51週)と適正な比較ができないことから、発生記号は表示していません。

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	133	20歳代、70歳代
5	梅毒	4	317	20歳代・2人、40歳代・1人、50歳代・1人